

平成25年12月期 第1四半期決算短信【日本基準】(連結)



平成25年8月6日

上場会社名  **富士ソフト株式会社** 上場取引所 東京証券取引所

コード番号 9749 URL <http://www.fsi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 坂下 智保

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 内藤 達也 TEL (045) 650-8811(代)

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	34,235	△2.0	1,406	△26.8	2,011	10.5	1,684	432.4
25年3月期第1四半期	34,950	11.5	1,922	352.9	1,820	535.9	316	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 2,389百万円 (385.2%) 25年3月期第1四半期 492百万円 (93.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	54 18	54 17
25年3月期第1四半期	10 08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	151,293	90,950	53.3
25年3月期	153,160	89,233	51.5

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 80,708百万円 25年3月期 78,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11 00	—	13 00	24 00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	14 00	—	7 00	21 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	70,000	△0.4	4,100	2.3	3,900	4.3	1,800	22.6	57 87
通 期	104,000	—	5,700	—	5,600	—	2,700	—	86 80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月24日に開催されました定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、平成25年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、経過期間となる平成25年12月期は、3月決算の子会社につきまして、平成25年4月1日から平成25年12月31日の9ヶ月を連結対象期間としております。なお、12月決算の子会社につきましては、従来通り、平成25年1月1日から平成25年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間としております。

[参考]

下記の％表示（調整後増減率）は、当社及び3月決算の連結対象会社の当期業績を9ヶ月（平成24年4月1日から平成24年12月31日）の期間に合わせて次期業績予想と比較した増減率です。

売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		(単位：百万円)
104,000	1.8%	5,700	5.9%	5,600	2.6%	2,700	8.2%	

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の：無異動）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	33,700,000株	25年3月期	33,700,000株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	2,560,358株	25年3月期	2,595,064株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	31,090,341株	25年3月期1Q	31,384,669株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策や日銀の大胆な金融緩和策を背景に、企業収益や個人消費が改善する等、徐々に景気回復の兆しが見えはじめてまいりました。

当業界におきましては、IT投資への需要が底堅く推移する中で、スマートデバイスの普及が本格化したことに伴うネットワークの高速化への需要や、パブリッククラウドサービスの著しい成長が見込まれる等、新たなサービスへの期待も高まってまいりました。

こうした状況の下、当社グループは、中期方針である「高付加価値事業構造への挑戦と創造」をより一層推し進め、「ICTの発展をお客様価値向上に結びつけるイノベーション企業グループ」を目指して活動してまいりました。

具体的には、成長分野・需要拡大分野に経営資源を割り当てた結果、社会インフラ関連の受注が好調だったほか、金融関連においても大型案件を獲得いたしました。また、案件の提案力・対応力、プロジェクトの管理力を強化するとともに、営業力の強化や生産性・品質向上に継続的に取り組む等、各種施策を継続して実施してまいりました。

一方、新たなプロダクト展開といたしましては、当社独自のアプリケーション「moreNOTE」の販売拡大のため、各代理店との販売代理店契約を結んだことに加え、ICTを活用したスマートな授業運営を目指す「みらいスクールステーション(校内情報配信システム)」につきましても、「第4回教育ITソリューションEXPO」に出展する等、販売促進活動に注力いたしました。

また、平成25年6月24日開催の第43回定時株主総会におきまして、事業運営の効率化や海外子会社と決算期を統一することによる適時・適正な経営情報の開示を徹底するため、定款の一部変更を決議し、当社の事業年度を毎年1月1日から12月31日までに変更いたしました。

グループ経営につきましては、ヴィンキュラム ジャパン株式会社と株式会社ヴィクサスが合併し、平成25年4月1日より株式会社ヴィンクスとしてスタートを切っており、さらなる付加価値向上、ビジネス拡大を目指してまいります。

このような状況の下、第1四半期連結累計期間の業績については、前年度に連結子会社を売却した影響等により、売上高は342億35百万円(前年同期比2.0%減)となり、販売費及び一般管理費は65億82百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は14億6百万円(前年同期比26.8%減)となりました。また、持分法による投資利益を計上したことで、経常利益は20億11百万円(前年同期比10.5%増)となりました。さらに、特別利益に持分変動利益を計上し、法人税等が減少したことにより、四半期純利益は16億84百万円(前年同期比432.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① S I (システムインテグレーション) 事業

S I 事業につきましては、組込系/制御系ソフトウェアにおいて、ISP(インターネットサービスプロバイダ)やネットワーク機器ベンダー向けのネットワークインフラ案件が寄与し、増収となりました。業務系ソフトウェアにおいては、連結子会社除外の影響があり減収となりましたが、単体における金融系大型案件が好調に推移いたしました。プロダクト・サービスにおいては、単体におけるライセンスビジネスが好調でありましたが、証券系子会社のプロダクト販売が不振だったことにより、減収となりました。アウトソーシングにおいては、連結子会社除外の影響等により、減収となりました。

以上の結果、売上高は321億16百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益は12億9百万円(前年同期比29.6%減)となりました。

※連結子会社除外・・・平成24年7月31日に連結子会社である富士ソフトKCS株式会社を譲渡しております。

※S I 事業の主な売上高の内訳については、以下の通りであります。

また、当事業年度よりS I 事業の内訳を組込系/制御系ソフトウェア、業務系ソフトウェア、プロダクト・サービス、アウトソーシングに変更しております。(単位：千円)

	売上高	前年同期比(%)
S I 事業合計	32,116,045	97.7%
システム構築	18,395,649	99.4%
組込系/制御系ソフトウェア	9,324,061	105.2%
業務系ソフトウェア	9,071,588	94.1%
プロダクト・サービス	13,720,396	95.5%
プロダクト・サービス	8,867,222	99.4%
アウトソーシング	4,853,174	89.1%

②ファシリティ事業

ファシリティ事業につきましては、当社及び一部の連結子会社が所有しているオフィスビルの賃貸収入等により、売上高は5億13百万円(前年同期比9.4%増)となり、営業利益は1億91百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

③その他

その他につきましては、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等の収入により、売上高は16億6百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益は5百万円(前年同期比70.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,512億93百万円(前連結会計年度末差18億66百万円減)となりました。その内訳は、流動資産が504億11百万円(前連結会計年度末差20億14百万円減)、固定資産が1,008億82百万円(前連結会計年度末差1億48百万円増)であります。

流動資産の主な変動要因は、受取手形及び売掛金が257億円(前連結会計年度末差32億99百万円減)になったこと等によるものであります。

固定資産の主な変動要因は、投資その他の資産のうち、株価の上昇に伴い投資有価証券が151億54百万円(前連結会計年度末差3億38百万円増)になったこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債総額は603億42百万円(前連結会計年度末差35億83百万円減)となりました。その内訳は、流動負債が370億37百万円(前連結会計年度末差36億65百万円減)、固定負債が233億5百万円(前連結会計年度末差81百万円増)であります。

流動負債の主な変動要因は、借入金の返済により短期借入金が45億31百万円(前連結会計年度末差18億19百万円減)となり、未払法人税が7億35百万円(前連結会計年度末差17億26百万円減)になったこと等によるものであります。

固定負債の主な変動要因は、繰延税金負債が16億92百万円(前連結会計年度末差3億1百万円増)、借入金の返済により長期借入金が147億51百万円(前連結会計年度末差94百万円減)になったこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は909億50百万円(前連結会計年度末差17億17百万円増)となりました。また、自己資本比率は前連結会計年度末の51.5%から53.3%になりました。

（3） 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年5月9日公表の「平成25年3月期 決算短信」に記載のとおりであり、当該業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2） 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	12,990,227	12,255,626
受取手形及び売掛金	29,000,687	25,700,752
有価証券	3,024,552	2,909,888
商品	437,426	413,535
仕掛品	2,101,571	2,586,083
原材料及び貯蔵品	27,538	35,279
その他	4,910,158	6,556,661
貸倒引当金	△66,357	△46,806
流動資産合計	52,425,804	50,411,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,702,822	56,767,386
減価償却累計額	△20,404,301	△20,780,619
建物及び構築物（純額）	36,298,521	35,986,766
土地	30,415,744	30,415,744
建設仮勘定	104,348	21,465
その他	16,389,951	16,240,690
減価償却累計額	△11,863,382	△11,883,543
その他（純額）	4,526,569	4,357,147
有形固定資産合計	71,345,183	70,781,124
無形固定資産		
のれん	3,304,085	3,765,467
ソフトウェア	4,268,065	4,428,508
その他	229,406	228,632
無形固定資産合計	7,801,557	8,422,607
投資その他の資産		
投資有価証券	14,816,269	15,154,555
その他	6,818,306	6,570,424
貸倒引当金	△47,028	△46,126
投資その他の資産合計	21,587,548	21,678,853
固定資産合計	100,734,289	100,882,586
資産合計	153,160,094	151,293,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	8,295,215	7,311,037
短期借入金	6,351,235	4,531,402
1年内償還予定の社債	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	9,708,848	9,373,675
未払費用	7,427,421	9,369,853
未払法人税等	2,461,725	735,515
役員賞与引当金	201,301	81,104
工事損失引当金	257,389	71,038
その他	5,994,180	5,563,426
流動負債合計	40,702,315	37,037,052
固定負債		
長期借入金	14,845,271	14,751,229
退職給付引当金	4,755,794	4,740,697
役員退職慰労引当金	315,628	284,987
繰延税金負債	1,391,247	1,692,339
その他	1,916,415	1,836,393
固定負債合計	23,224,357	23,305,647
負債合計	63,926,673	60,342,700
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	26,200,289	26,200,289
資本剰余金	28,438,965	28,505,941
利益剰余金	36,696,948	37,978,791
自己株式	△5,161,787	△5,175,399
株主資本合計	86,174,415	87,509,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,779,466	2,079,303
繰延ヘッジ損益	26,338	22,156
土地再評価差額金	△9,051,088	△9,051,088
為替換算調整勘定	3,994	148,196
その他の包括利益累計額合計	△7,241,288	△6,801,432
新株予約権	95,597	14,787
少数株主持分	10,204,695	10,227,927
純資産合計	89,233,420	90,950,905
負債純資産合計	153,160,094	151,293,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	34,950,111	34,235,712
売上原価	26,611,735	26,246,904
売上総利益	8,338,376	7,988,807
販売費及び一般管理費	6,416,067	6,582,175
営業利益	1,922,308	1,406,632
営業外収益		
受取利息	8,845	6,094
受取配当金	53,065	53,322
持分法による投資利益	—	546,106
助成金収入	21,695	34,246
その他	44,572	104,605
営業外収益合計	128,178	744,375
営業外費用		
支払利息	126,908	79,625
持分法による投資損失	80,435	—
為替差損	10,030	35,404
その他	12,909	24,311
営業外費用合計	230,283	139,341
経常利益	1,820,203	2,011,666
特別利益		
投資有価証券売却益	279	13,568
持分変動利益	—	455,926
特別利益合計	279	469,494
特別損失		
事業所閉鎖損失	5,546	—
特別損失合計	5,546	—
税金等調整前四半期純利益	1,814,936	2,481,160
法人税、住民税及び事業税	953,251	698,162
法人税等調整額	379,253	△58,039
法人税等合計	1,332,505	640,122
少数株主損益調整前四半期純利益	482,431	1,841,038
少数株主利益	166,064	156,557
四半期純利益	316,366	1,684,481

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	482,431	1,841,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224,567	356,186
繰延ヘッジ損益	△37,436	△7,752
為替換算調整勘定	278,918	243,972
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,871	△44,124
その他の包括利益合計	10,043	548,282
四半期包括利益	492,474	2,389,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,056	2,122,367
少数株主に係る四半期包括利益	246,417	266,952

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	S I 事業	ファシリ テイ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,874,460	469,467	33,343,928	1,606,183	34,950,111	—	34,950,111
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,504	189,794	196,298	206,076	402,375	(402,375)	—
計	32,880,965	659,261	33,540,226	1,812,260	35,352,487	(402,375)	34,950,111
セグメント利益	1,717,804	187,358	1,905,162	17,222	1,922,384	(76)	1,922,308

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△76千円には、セグメント間取引消去△76千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	S I 事業	ファシリ テイ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,116,045	513,372	32,629,418	1,606,294	34,235,712	—	34,235,712
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,802	162,233	175,036	268,685	443,722	(443,722)	—
計	32,128,848	675,606	32,804,455	1,874,979	34,679,434	(443,722)	34,235,712
セグメント利益	1,209,785	191,933	1,401,719	5,150	1,406,869	(237)	1,406,632

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△237千円には、セグメント間取引消去△237千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。